

上末吉福祉だより

発行 上末吉地区社会福祉協議会 会長 渡邊 武

上末吉地区老人クラブ連合バス旅行 成田山新勝寺初詣と柴又帝釈天参拝ツアー

日時 1月23日(月)

成田山新勝寺初詣に参加して

毎年恒例の成田山新勝寺初詣に大型バス2台総勢81名が参加。午前7時30分上末吉を出発し、午前には葛西臨海公園を散策。大型観覧車の下約20万本の水仙を見て、バスは一路成田山新勝寺へと向かいました。思えば去年は東日本大震災など本当に悪い年に当たり、今年こそは良い年であるよう、祈願しました。その後、車は浅草ビューホテルにてバイキングの昼食をとり、ホテルの28階よりスカイツリーを眺望し、いかにタワーが大きいかを実感しました。

また、東京に新名所が出来5月には完成とのことと今後の楽しみのひとつです。最後に柴又帝釈天を参拝し、参加者全員事故もなく上末吉への帰途につきました。

バスツアーに参加して地域の交流が深まり、多数の友達を作る良い機会が出来たのではないのでしょうか。

とかく最近では、高齢者が家に引きこもりがちになりがちで、地域の交流の大切さを考えさせられます。そこで上末吉地区老人クラブでは教養部門として、末吉地区センターにて年6回「老人の集い」を開催し、色々のテーマを企画し、会員の皆さま方と共に教養を高めるよう努めています。また、スポーツ部門では、春・秋、横浜信用金庫主

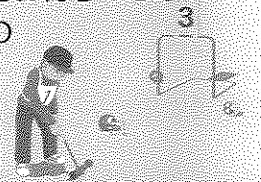


葛西臨海公園

催のもとで親睦ゲートボール大会を上末吉二丁目公園にて開催し、楽しい時間を過ごしています。

今年も皆さま方、多数の参加をお待ちします。最後に単位クラブの発展と会員の健康を願うものです。

(上末吉ときわ会会長 新井伴義)



研修会「発達障害の理解のために・・・」

主催：上末吉地区社協

日時 5月11日(金) 午前10時30分～

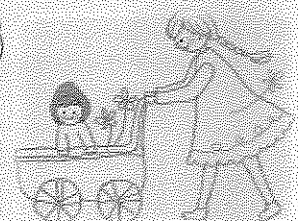
会場 末吉地区センター 中会議室

講師 大野 伸之(横浜市東部地域療育センター)

対象 子育て中の方、子育て支援に関心のある方

※保育あり 300円 事前申込が必要です

参加・保育の申込先 増田 ☎572-6446



4月から月2回の配食となります!

配食ボランティア
ランチ末吉「つむぎ」

募集 ☆配食を希望される方
☆ボランティアをしてくださる方

ご利用案内 ※①②③の条件をみたく

- ① 高齢者世帯やお一人暮らし、または日中高齢者世帯や日中お一人暮らしの方
 - ② なかなか外出することが難しい方
 - ③ 上末吉・梶山・下末吉地区にお住まいの方
- 配達日: 第1・3木曜日(祭日の場合は、翌週の木曜日)
配達時間: 11:00~12:00 1食 450円
内容: お弁当の配達、ご様子の確認(体調の変化等)
お問合せ: 駒岡地域ケアプラザ 担当 氏家
☎570-6601

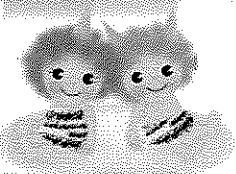
カレンダー

- 3月 2日 (金) 金曜えがお亭
- 3月 16日 (金) やよい会
- 3月 19日 (月) ほんぼこりん広場
- 4月 6日 (金) 金曜えがお亭
- 4月 16日 (月) ほんぼこりん広場
- 4月 20日 (金) やよい会・老人の集い
- 5月 4日 (金) 金曜えがお亭
- 5月 18日 (金) やよい会
- 5月 21日 (月) ほんぼこりん広場

地域の話

節分祭

2月3日(金) 18時~
末吉不動尊(真福寺)



ほんぼこりん広場

5回目のクリスマス!

12月の親子広場「ほんぼこりん広場」では、二丁目会館の窓や壁を星やサンタさんなどで飾り、みんなが楽しみに待っていたクリスマス会。早いもので、ほんぼこりん広場5回目のクリスマスです。

今回はクリスマスツリーをつくるコーナーを設けました。ママたちは、ボランティアから指導を受けながら、折り紙を折ってモミの木を作り、子どもと一緒にシールを貼ってツリーを仕上げました。

みんなでクリスマスソングを歌ってお楽しみ会がスタート。飯島さんのお猿さんの人形劇に子どもたちは興味津々。東海林さんのエプロンシアター「大きなカブ」では、一緒にカブを抜きました。最後にサンタコースから小さなプレゼントをもらって終了。「まだ帰りたくない」って泣いた子もいましたよ。

1月は、「ヨコハマ・マン・シアター」が人形劇を見せてくれました。0歳の予も1歳の予も、お誕生日を迎えたばかりの2歳の予もみんな真剣に見ていました。

毎月第3月曜日の10時から12時、二丁目会館で行っています。参加費無料。出入り自由です。おもちゃが用意してありますから、お子さんと遊びに来てください。待っています。

4月には、特別編として、桜の下でのお楽しみ会を開く予定です。詳しくは、町内会の掲示板で、3月末に掲示します。



節分の日、恒例の豆まきが末吉不動尊で、今年こそよい年になってほしいとの願いを込めて行われました。

境内は老若男女の人でいっぱいになり、70名の年男・年女により撒かれた福豆を両手に、また帽子を広げると、少しでも多く福を招きたいと競って受け取っていました。

福豆の袋の中には野菜やお菓子、家庭用品が当たる券が入っているものもあり、これを手にした人は、ホクホク顔で家路に急いでいました。

冬から春への一里塚ですが、早く暖かくなってほしいですね。(W)

